

## 4 ICD-9からICD-10への改訂による各章における分類上の主要変更内容

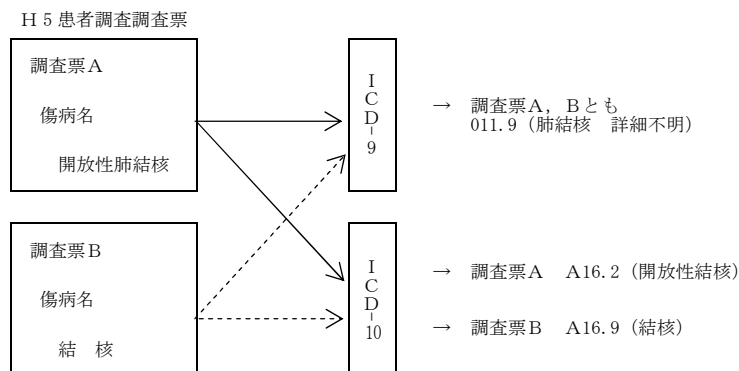
<b>第Ⅰ章 感染症及び寄生虫症 (A00-B99)</b>		<b>第ⅩⅠ章 消化器系の疾患 (K00-K93)</b>	
(1) A33 新生児破傷風	771.3から移動	(1) K12.2 口腔の蜂巣炎<蜂窩織炎>及び膿瘍	
(2) A34 産科的破傷風	639.0, 670から移動	顎下膿瘍	682.0から移動
(3) B20-B24 ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病	279.8から移動	(2) K13.0 口唇の疾患	
	279.8の一部	口角びらん(症)	686.8から移動
(4) 結核を伴うじんこ塵肺(症)	…後天性免疫不全症候群(AIDS)	(3) K90.8 その他の腸性吸収不良(症)	
珪肺結核	011.4からJ65へ移動	クイックル<Whipple>病	040.2から移動
(5) レイノ氏菌による扁桃炎	011.4からJ65へ移動	(4) 口内乾燥, 詳細不明	527.7からR68.2へ移動
(6) 紅色陰せんこ瘡	034.0からJ03.0へ移動		
(7) クイックル<Whipple>病	039.0からL08.1へ移動		
(8) ライター病	040.2からK90.8へ移動		
(9) 非特異性尿道炎	099.3からM02.3へ移動		
(10) サルモネラ	099.4からN34.1へ移動		
(11) ペルフィオラ	135からD86へ移動		
	136.1からM35.2へ移動		
<b>第Ⅱ章 新生物 (C00-D48)</b>		<b>第ⅩⅡ章 皮膚及び皮下組織の疾患 (L00-L99)</b>	
(1) C45-C49 中皮及び軟部組織の悪性新生物	後腹膜及び腹膜の悪性新生物がI58からC48へ移動し、中皮腫はC45へ、脂肪肉腫はC46へ分類	(1) L08.1 紅色陰せんこ瘡	039.0から移動
		(2) リンパ管性細網症	695.8からI89.8へ移動
(2) C88 悪性免疫増殖性疾患	内分泌の章から移動	(3) 乳房のようく癌腫	680.2からN61へ移動
C88.0 リンパ管性高ガンマリン血症	273.3から移動	(4) 顎下膿瘍	682.0からK12.2へ移動
C88.2 ガンマH<重>鎖病	273.2から移動	(5) 口角びらん(症)	686.8からK13.0へ移動
(3) C90.2 形質細胞腫, 髄外性	238.6から移動		
(4) C94.4 急性汎骨髄症	238.7から移動		
C94.5 急性骨髄線維症	289.8から移動		
(5) D37-D48 性状不詳または不明の新生物	性状不詳及び性質の明示されない新生物が合体		
(6) D46 骨髄異形成症候群	289.8から移動		
D46 不応性貧血	284.9から移動		
(7) D47.2 単クローン性異常免疫グロブリン血症	273.1から移動		
(8) 神経線維腫症(非悪性)	237.7からQ85.0へ移動		
<b>第Ⅲ章 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (D50-D89)</b>		<b>第ⅩⅢ章 筋骨格系及び結合組織の疾患 (M00-M99)</b>	
(免疫機構の障害は第Ⅳ章内分泌、栄養及び代謝疾患から移動)		(1) M02.3 ライター病	099.3から移動
(1) D86 サルモネラ	135から移動	(2) M10 痛風	274から移動
(2) D89.0 多クローン性高ガンマリン血症	273.0から移動	(3) M11 その他の結晶性関節障害	275.4及び712から移動
(3) ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病	279.8からB20-B24へ移動	(4) M30 結節性多発(性)動脈炎及び関連病態	446.0から移動
(4) 急性骨髄線維症	289.8からC94.5へ移動	(5) M31 その他のえく壊>死性血管障害	446.1-446.7から移動
(5) 骨髄異形成症候群	289.8からD46へ移動	(6) M35.2 ペルフィオラ	136.1から移動
(6) 不応性貧血	284.9からD46へ移動	M35.9 全身性結合組織疾患, 詳細不明	
(7) 非特異性リンパ節炎	289.1-289.3からI88へ移動	自己免疫疾患(全身性)	279.4から移動
		(7) 歩行困難, 他に分類されないもの	719.7からR26.2へ移動
<b>第Ⅳ章 内分泌、栄養及び代謝疾患 (E00-E90)</b>		<b>第ⅩⅣ章 尿路性器系の疾患 (N00-N99)</b>	
(免疫機構の障害が第Ⅲ章へ移動。ただし、HIVは第Ⅰ章へ移動)		(1) N23 詳細不明の腎仙痛	788.0から移動
(1) 痛風	274からM10へ移動	(2) N31 神経因性膀胱(機能障害), 他に分類されないもの	344.6から移動
(2) リンパ管性高ガンマリン血症	273.3からC88.0へ移動		
(3) ガンマH<重>鎖病	273.2からC88.2へ移動		
(4) 単クローン性異常免疫グロブリン血症	273.1からD47.2へ移動	(3) N34.1 非特異性尿道炎	099.4から移動
(5) 多クローン性高ガンマリン血症	273.0からD89.0へ移動	(4) N61 乳房のようく癌腫	680.2から移動
(6) その他の結晶性関節障害	275.4からM11へ移動	(5) N98 人工授精に関連する合併症	ICD-10で新設
(7) 自己免疫疾患(全身性)	279.4からM35.9へ移動	(6) 詳細不明の血尿	599.7からR31へ移動
<b>第Ⅴ章 精神及び行動の障害 (F00-F99)</b>		<b>第ⅩⅤ章 妊娠、分娩及び産後(000-099)</b>	
(1) アルツハイマー病における認知症	290.1からG30へ移動	(1) O10-O16 妊娠、分娩及び産後(000-099)	ICD-9のさまざまな部分から集められた
(2) 緊張性頭痛	307.8からG44.2へ移動	(2) O30-O48 胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の問題	関連する章のさまざまな項目から集められた
		(3) 産科的破傷風	639.0及び670からA34へ移動
<b>第Ⅵ章 神経系の疾患 (G00-G99)</b>		<b>第ⅩⅥ章 周産期に発生した病態 (P00-P96)</b>	
(1) G12 脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	335前角細胞疾患にあたる	(1) P00-P04 母体側要因並びに妊娠及び分娩の合併症により影響を受けた胎児が新生児	ICD-9の760-763に対応
(2) G30 アルツハイマー病における認知症	290.1から移動	(2) P10-P15 出産時外傷	ICD-9の760-763から移動してきた細分項目を含む
(3) G44.2 緊張性頭痛	307.8から移動	(3) P52 胎児及び新生児の頭蓋内非外傷性出血	772.1脳室内出血及び772.2くも膜下出血はICD-9では出産時外傷には含まれていない
(4) G45 一過性脳虚血発作及び関連症候群	435から移動	(4) P20-P29 周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	767出産時外傷から移動してきた細分項目を含む。
(5) G47 睡眠障害	780.5から移動	(5) P29.3 胎児循環持続く遺残>	P22.1新生児一過性頻呼吸はICD-9では770胎児及び新生児のその他の呼吸器病態に分類されている
(6) 神経因性膀胱(機能障害), 他に分類されないもの	344.6からN31へ移動	(6) P96.0 先天性腎不全	747.9から移動
		(7) 新生児破傷風	753から移動
<b>第Ⅶ章 眼及び付属器の疾患 (H00-H59) (ICD-9の360-379にあたる)</b>		<b>第ⅩⅦ章 先天奇形、変形及び染色体異常 (Q00-Q99)</b>	
(1) 幻視	368.1からR44.1へ移動	(1) Q07.0 テーランド・シグナ症候群	741.0二分脊椎から移動
		(2) Q11.3 巨大眼球(症)	743.8眼のその他の明示された異常から移動
		(3) Q24.1 左胸心	746.8心(臓)のその他の明示された異常から移動
		(4) Q24.6 先天性心臓病	746.8心(臓)のその他の明示された異常から移動
		(5) Q85.0 神経線維腫症(非悪性)	237.7から移動
		(6) 脳動静脈奇形の破裂	747.8からI60.8へ移動
		(7) 胎児循環持続く遺残>	747.9からP29.3へ移動
<b>第Ⅷ章 耳及び乳様突起の疾患 (H60-H95) (ICD-9の380-389にあたる)</b>		<b>第ⅩⅧ章 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)</b>	
<b>第Ⅸ章 循環器系の疾患 (I00-I99)</b>		(1) R00.1 除脈, 詳細不明	427.8から移動
(1) I60.8 脳動静脈奇形の破裂	747.8から移動	(2) R09.1 胸膜炎	511.0から移動
(2) I88 非特異性リンパ節炎	289.1-289.3から移動	(3) R26.2 歩行困難, 他に分類されないもの	719.7から移動
(3) I89.8 リンパ管性細網症	695.8から移動	(4) R31 詳細不明の血尿	599.7から移動
(4) 虚血性心疾患	急性と慢性の期間の変更	(5) R44.1 幻視	368.1から移動
	(急性…8週以下から4週以内に變更)	(6) R58 出血, 他に分類されないもの	459.0から移動
(5) 除脈, 詳細不明	427.8からR00.1へ移動	(7) R68.2 口内乾燥, 詳細不明	527.7から移動
(6) 一過性脳虚血発作及び関連症候群	435からG45へ移動	(8) 先天性腎不全	753からP96.0へ移動
(7) 結節性多発(性)動脈炎及び関連病態	446.0からM30へ移動	(9) 呼吸不全, 他に分類されないもの	799.1からJ96へ移動
その他のえく壊>死性血管障害	446.1-446.7からM31へ移動	(10) 睡眠障害	780.5からG47へ移動
(8) 出血, 他に分類されないもの	459.0からR58へ移動	(11) 詳細不明の腎仙痛	788.0からN23へ移動
<b>第Ⅹ章 呼吸器系の疾患 (J00-J99)</b>		※ 以上のように大幅な変更が行われた結果、次ページのような問題が生じたため傷病分類による年次比較は行えない。	
(1) J03.0 レイノ氏菌による扁桃炎	034.0から移動		
(2) J65 結核を伴うじんこ塵肺(症)	011.4から移動		
珪肺結核	011.4から移動		
(3) J96 呼吸不全, 他に分類されないもの	799.1からJ96へ移動		
(4) 胸膜炎	511.0からR09.1へ移動		

※1: 「第ⅩⅣ章 尿路性器系の疾患」は、ICD-10 (2003年版) において「第ⅩⅣ章 腎尿路生殖系系の疾患」に変更となった。  
 ※2: 「第Ⅱ章 新生物」は、ICD-10 (2013年版) において「第Ⅱ章 新生物く腫瘍」に変更となった。

## □傷病分類年次比較について

平成5年と平成8年～29年調査の比較を行う場合、平成5年データにICD-10でのコードを付与し同じ分類で比較する必要があるが、平成5年のデータは傷病名をICD-9のコードに変換済みのものしか現存しないため、ICD-9コードをICD-10コードへ変換する方法を採らざるを得ない。その場合、次のような問題が生じる。

### 問題例



これは、調査票記載の傷病名が異なるが、ICD-9コードは同じ（011.9）が付与されていたものであっても、ICD-10ではA16.2とA16.9の2つに分類される場合があることを示した図である。

このような場合、コード（011.9）だけに着目すると、A16.2とA16.9のどちらのコードに変換すべきか判断できないため、事実上コード変換は不可能であることから、年次比較はできないものである。

（事実上コード変換が不可能な事例）

